

(公財) 日本海事センター企画研究部次長 臼井 潔人



企画研究部の臼井でございます。新潟県の海事産業を県内の関係者の前でお話しするというのはちょっと居心地の悪いところではありますが、私は新潟県の村上市の出身でございます、小幡会長からは「本日発表するというのは故郷に錦を飾ることになる」と激励を受けておりますので、最後の時間になりましたけれども、10分程お付き合い頂きたいと思いま

す。

まず最初に、新潟県を全国ランキングから見ますと、県土面積は全国5位、人口は明治30年頃までは東京、大阪と1、2位を争っておりましたが、現在は14位となっております。耕地面積は北海道に次いで2位。信濃川をはじめとする河川の総延長も2位ということで、肥沃な土地から、米の産出量が1位、その製品であります米菓、餅製品、日本酒の出荷額も全国1位、日本酒の消費量も堂々1位でございます。付け加えまして、かまぼこや竹輪等の水産練り製品、金属洋食器、石油ストーブ、ニットセーター等が1位となっております。また、海岸の話になりますけれども、海岸の長さは21位ですが、本州日本海側では、山口、兵庫、青森に次いで4位となっております。新潟の海水浴場は全国一ですが、長く続く砂浜は海水浴場には適しておりますが、港湾建設には不向きな土地柄でありまして、新潟西港は信濃川の河口、当地の直江津港も今は分離されておりますが関川の河口、姫川港も同様となっております。先程川村先生から舞鶴は天然の良港というご紹介がありましたが、非常に羨ましい話で、新潟の場合、河口にある港というのは上流から絶えず土砂が流れてきます。なおかつ、日本海からの荒波から港を守る必要があるということで、港湾の維持管理には非常に苦勞しておりまして、新潟県最大の新潟東港は掘り込み港湾ということで、砂浜を掘り込んで建設されております。次に別枠になっております

けれども、新潟県は神社の数が全国一、12歳児の虫歯の少なさも日本一となっておりまして、離婚率の低さも日本一ということで、これはひとえに、新潟の女性が我慢強いということじゃないかというふう
に1人納得しております。

次に、輸出入コンテナの取扱本数ですけれども、新潟港の取扱本数は2013年で18万TEU、全国11位で、本州日本海側では1位となっております。ライバルとしては苫小牧港と四日市港があります。ご
当地の直江津港は取扱本数が3万TEUで、全国的に見ますと34位、全国のコンテナ港湾が約60ありますので、ちょうど真ん中の位置にありまして、日本海側港湾では敦賀港に次ぐ規模となっております。
なお、TEUは20フィートコンテナを1TEU、40フィートコンテナを2TEUということでカウントして
います。

こちらのランキングを見て頂きたいんですけれども、1位の東京港から5位の神戸港までを5大港。
それに博多、北九州、清水を加えた8大港とその他地方港湾に分類されていますが、8位の清水港と9
位の苫小牧港では取扱本数には倍の開きがあるのが現状です。

次に、新潟県の輸出入貨物を見ますと、新潟港の輸出では北越紀州製紙の紙、パルプが1位とな
っております。同社は輸出に力を入れておりまして、なおかつ、地元貢献すべきということで新潟港
の利用を積極的に推進しております。また、同社が輸入する製紙原料であります木材チップは、その輸
入量が新潟港で2位となっております。

直江津港では輸出の1位、輸入の2位が化学薬品で、信越化学、日本曹達、ダイセルなどが輸出企業
というふうになっております。また、新潟県の輸入を見ますと、新潟港と直江津港ともに液化天然
ガス(LNG)の輸入が60%以上を占めておりまして、両港ともに国土交通省からLNG部門の日本海側拠点
港湾に指定されております。直江津港には中部電力と国際石油開発帝石が進出し、エネルギー港湾とし
ての発展が今後ますます期待されております。

お隣の姫川港ですが、明星セメントと電化セメントの原材料と製品を取り扱っております。この港は珍しく輸入と輸出のバランスがとれておりまして、輸入で石炭を揚げた船で、輸出のセメントまたは石灰石を積むことができ、非常に効率的なオペレーションができる港になっております。

次に佐渡汽船ですが、先程藤井部長からもご紹介がありました通り、サービス等はもう説明する必要もないかもしれませんが、少し耳の痛い話ですけれども、採算に関しましては、新潟～両津航路は黒字、直江津～小木航路と寺泊～赤泊航路の2つの航路では苦戦しているというふう聞いております。2013年の旅客輸送人員は155万人。過去の記録を見ますと、1990年の輸送人員は300万人を超えておりましたので、ちょうど半分ということになっております。先程もお話がありましたけれども、新潟～両津航路ではこの4月から「ときわ丸」が就航しておりますし、直江津～小木航路では、来年春に新造高速船フェリー「あかね」の就航が予定されておりますので、今後新造船効果が期待できるのではないかと考えております。

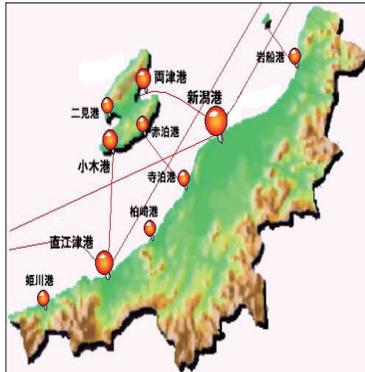
フェリー、旅客船サービスですけれども、佐渡汽船に加えまして、長距離フェリーでは新潟と北海道の間で、新日本海フェリーが大型フェリーを運航しておりまして、本州と北海道を結ぶ大動脈となっております。スケジュールは新潟港と小樽港の間で週に6便、新潟～秋田～苫小牧でも週6便となっており、敦賀には週1回寄港しております。また、ご存じの方は少ないと思うんですが、私の地元であります村上市には、岩船港と粟島を結ぶ淡島汽船というものがありまして、フェリー1隻と「awaline きらら」という高速船を運航しております。佐渡の人口6万近いんですけど、粟島の人口は400人を切っておりまして、非常に苦しい状態になっております。産業は漁業と夏場の観光だけというような状況なんですけれども、少し前に行ったときは、「乙姫の湯」という温泉も掘り当てたということなので、粟島並びに粟島汽船の応援もよろしくお願い致します。

海運業の次は造船業ですけれども、信濃川河口に立地する新潟造船は本州日本海側では最大規模の造船所です。100年以上の歴史と1,000隻以上の建造実績を誇っております。元々は新潟鐵工所の造船部門でしたけれども、新潟鐵工所が経営破綻したため2003年に三井造船の100%子会社となっております。

主な建造船としましては、船の入出港に使われるタグボート、遠洋航海も可能なオーシャンタグや海上油田基地に関わる作業船を始めとしまして、フェリー、漁業訓練船、漁船、アルミ漁船等で、小型船の建造が主体でしたけれども、最近は1万トンを超すケミカルタンカー等も建造しております。

最後になりましたけれども、上越市と直江津港の益々のご発展を祈念致しまして、結びの言葉に代えさせていただきます。ご清聴誠にありがとうございました。

新潟県の海事産業について



2014年10月21日(火)
日本海事センター
企画研究部 白井深人

1. 新潟県 全国ランキング(2014年)

- (1) 県土総面積は全国5位。耕地面積は北海道に次いで2位。
日本最長河川の信濃川が流れ、1、2級河川の総延長は全国2位。
- (2) 米の産出額、米菓・もち・清酒・水産練り製品の出荷額は全国1位。
- (3) 金属洋食器、石油ストーブ、ニットセーターの出荷額も1位。
- (4) 海水浴場の数も1位。但し、長く続く砂浜は港湾建設には不利。
・河川港=新潟西港、直江津港、姫川港 ・新潟東港は掘り込み港湾

県土総面積	12,584 km ²	5位	清酒の出荷額	442 億円	1位
総人口	2,330 千人	14位	清酒消費量	15 リットル	1位
県内総生産	87,121 億円	14位	原油生産量	439,295 kl	1位
製造品出荷額	43,664 億円	23位	天然ガス生産量	2,348,031 千m ³	1位
海岸線	635 km	21位	金属洋食器	101 億円	1位
1、2級河川	5,167 km	2位	石油ストーブ	559 億円	1位
耕地面積	173,000 ha	2位	ニットセーター	191 億円	1位
海水浴場	68 カ所	1位	水産練り製品	358 億円	1位
温泉地	154 カ所	3位			
米の産出額	1,698 億円	1位	社数の数	4,767 社	1位
米菓の出荷額	1,704 億円	1位	虫歯の少なさ	12歳児 0.6本	1位
餅の出荷額	331 億円	1位	離婚率の低さ	千人当たり 1.38件	1位

2. 外航コンテナ取扱本数 (千TEU)

- (1) 新潟港の取扱本数は8大港に次いで全国11位。本州日本海側では1位。
苫小牧と四日市がライバル。
- (2) 直江津は34位。日本海側では敦賀に次ぐ位置。

港湾名	2010年	2011年	2012年	2013年	順位
東京	3,816	4,144	4,235	4,353	1位
横浜	2,975	2,803	2,731	2,588	2位
名古屋	2,395	2,472	2,493	2,530	3位
大阪	1,980	2,173	2,120	2,194	4位
神戸	2,018	2,096	2,071	2,049	5位
博多	717	814	819	830	6位
北九州	406	429	434	417	7位
清水	393	411	414	407	8位
苫小牧	201	211	196	211	9位
四日市	171	172	183	194	10位
新潟	163	198	175	181	11位
広島	172	157	142	156	12位

伏木富山	64	68	65	73	16位
秋田	49	61	64	71	17位
金沢	40	48	48	53	23位
敦賀	19	29	35	39	27位

松山	30	28	30	31	33位
直江津	23	26	29	30	34位
八戸	28	22	28	28	35位

全国計	16,858	17,525	17,521	17,746	64港
-----	--------	--------	--------	--------	-----

(注) TEU = 20フィートコンテナ x 1本
40フィートコンテナは2TEU



3. 輸出入貨物(2013年)

- (1) 新潟港の輸出では、北越紀州製紙の紙・パルプ製品が1位。
- (2) 直江津港の輸出では、信越化学、日本曹達、ダイセルなどの化学薬品が1位。
- (3) 輸入では、新潟と直江津ともにLNGの輸入が1位。両港はLNGの日本海側拠点港に指定されている。直江津には中部電力と国際石油開発帝石が進出し、エネルギー港湾としてのさらなる発展が期待できる。
- (4) 姫川港は、明星セメントと電気化学工業(デンカ)の輸出入が主力。

○新潟港(合計) 輸出(117万トン) + 輸入(1,793万トン) = 1,910万トン

輸出	紙・パルプ	再利用資材	完成車	金属くず	その他	
226	19.3%	188	16.0%	171	14.6%	
117	10.0%	472	40.1%			
輸入	11,641	64.9%	2,380	13.3%	927	2.9%
				3,381	18.9%	

(主要輸出企業)

新潟港:
北越紀州製紙, 日本海エルエヌジー, コメリ, アークランドサカモト, ツインバード工業など

○直江津港 輸出(15万トン) + 輸入(198万トン) = 213万トン

輸出	化学薬品	金属くず	産業機械	その他		
56	36.5%	36	36.5%	21	13.3%	
1				66	3.3%	
輸入	1,393	70.5%	215	10.9%	106	5.4%
				197	9.9%	

直江津:
中部電力, 国際石油開発帝石, 信越化学, 日本曹達, ダイセル, ツガミ, オーエム製作所など

○姫川港 輸出(76万トン) + 輸入(74万トン) = 150万トン

輸出	セメント	石灰石	その他	
403	53.1%	355	46.9%	
輸入	672	90.8%	48	6.5%
			20	2.7%

姫川:
明星セメント, 電気化学工業

4. 佐渡汽船

- (1) 佐渡汽船は、昭和7年に佐渡航路で競合していた商船会社3社を、新潟県の資本参加のもと統合して設立された。日本最初の第三セクター。
- (2) 新潟/両津：フェリー「おけさ丸」(5,862トン)
「ときわ丸」(5,380トン) 2014年3月就航
ジェットフォイル「ぎんが」「つばさ」「すいせい」
直江津/小木：フェリー「こがね丸」(4,258トン)
寺泊/赤泊：高速船「あいびす」
- (3) 2013年の輸送実績：旅客 = 155.3万人 自動車 = 14.7万台
1990(平成2)年には300万人を超えていた。
- (4) 「佐渡金銀山を世界遺産に」



新潟—両津
「ときわ丸」



5

5. フェリー・旅客船サービス

1. 新日本海フェリー：旅客 = 15.8万人 自動車 = 13.4万台 (2013年)
(1) 新潟/小樽：週6便 「らいらっく」「ゆうかり」(18,229トン)
北航 = 18時間 南航 = 19.5時間
(2) (敦賀)/新潟/秋田/苫小牧：週6便
「フェリー しらかば」(20,563トン)「フェリー あざれあ」(20,554トン)
 2. 粟島汽船(岩船港～粟島)：旅客 = 5.6万人(2012年)
「フェリーあわしま」(626トン) 所要時間 = 90分 1日1便
高速船「awaline きらら」 所要時間 = 55分 1日3～5便(冬場を除く)
- (参考) 人口 佐渡市 = 58,281人 粟島浦村 = 369人 (2014年9月1日時点)



新潟—小樽航路
「らいらっく」「ゆうかり」



「awaline きらら」

6

6. 新潟造船(1)

- (1) 本州日本海側では唯一の大規模造船所。100年以上の歴史と1,000隻以上の建造実績を誇る。
- (2) 沿革
 - ・新潟鐵工所の造船部門として発足。1905(明治38)年に信濃川河口に工場建設。
 - ・2003年に三井造船が100%出資し、新潟造船として発足。
- (3) 主な建造船：
 - ・作業船 - : タグボート、アンカーハンドリングサプライボートなど
 - ・タンカー：ケミカルタンカー(11,500トン)
パンカータンカー(10,400トン)など
 - ・フェリー
 - ・漁業調査船、漁業実習・訓練船、漁業取締船など
 - ・漁船：マグロ延縄漁船、近海巻網漁船、底引き網漁船など
 - ・アルミニウム漁船

7

6. 新潟造船(2) - 主な建造船



オーシャンタグ(遠洋航海可能)



タグボート(曳船)



海上油田生産基地用作業船



ケミカルタンカー (2010年建造 11,500トン)



漁業練習船「かごしま丸」
シップ・オブ・ザ・イヤー2012受賞

8



上越市と直江津港の益々の
ご発展を祈念いたします

ご清聴ありがとうございました

公益財団法人 日本海事センター
URL:<http://www.jpmac.or.jp>

9